

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 5月 4日
2階3階共通

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2774600700		
法人名	有限会社 ロフティアイディール		
事業所名	高齢者福祉施設 葉月		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護（予防）		
所在地	柏原市玉手町18番51号		
自己評価作成日	平成22年4月6日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 4月 30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

本事業所は認知症の症状によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境のもとで、心身の特性を踏まえ、利用者の認知症の症状の緩和や悪化の防止を図り、尊厳ある自立した生活を営むことが出来るよう、その人らしい暮らしを続けるための日々の支援と環境づくり。食事、入浴、排泄等の日常生活場面での世話や機能訓練等の介護その他必要な援助を行うこと。またその人らしい暮らしを続けるための介護計画の作成と見直しを実施している

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

設立4年目のホームで、職員は5年以上の介護経験のベテランが中心となり、細かな気配りのケアを進めているので、利用者は安心して毎日を暮らしている。
そして、人生の先輩である利用者に職員が寄り添い、過去の生活のご苦労話し等を伺いながら情報を共有して、個別ケアの改善につなげ、更に、介護計画に反映するよう努力している。
ホームの所在地は近鉄 大阪線 国分駅付近の歴史ある地域の中にあり、静かで環境に恵まれた新築の近代的な鉄筋建てで、ホームは2階と3階、エレベーターがあり、共用室、廊下、風呂場もゆったりとした広さがあります

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各フロアーに＝基本理念＝を掲示し実施できるよう努めている	毎月定例的に職員会議を開催し、経営理念を基本とした活動を指導している	職員の研修計画を検討して欲しい。年月は掛かるかもしれませんが重要な事項を選んで着実に進めて欲しい	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	重要事項説明書に明記し入所時、家族様にも伝えている	運営推進会議のご出席者や施設関係者で、地域に詳しい方のご尽力により、少しずつ地域の方々との交流を進めている		
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩・外出を取り入れ地域との付き合いを取入れている。散歩外出できない場合は、玄関前にベンチを設置しているので座って話をしたり、通られる方に挨拶を交わしたりしている	/	/	
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方、ご家族様に参加を促し質疑応答の場を設けサービスの向上に努めている	原則的に2ヶ月に1回の運営推進会議が開催されており、ホームの運営状況説明と質疑応答とが主になっている		
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所からも出来るだけ市町村に出向き実情や協力関係を築いている	職員は疑問点があれば市役所に出向き、ご担当の方と、話し合いをするよう努力している		
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束は原則行っていない	毎月の職員会議でも身体拘束の重要性について話し合い、また研修会後は職員による伝達講習を実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加しその後、各職員に報告している		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等への参加を積極的に行っている		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、できるだけ分かりやすく説明し理解・納得できるよう心がけている		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は利用者さんのホームでの生活に寄り添った視点で、要望、思い等を大切に、ケア会議等につなげるように努力している	ホームでの生活全般を利用者に寄り添いながらお聞きし、更に、ご家族からの意見や要望を、ケア会議等に繋げるように努力している	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	会議の際には、利用者さんの意見や、職員の引継ぎ等から得られた内容を活かし、皆で話し易い雰囲気の中で相互の信頼関係となっている	会議開催時には、個別の意見や、職員の申送り事項から得られた内容を活かし、常に話し易い場づくりと信頼関係を築けるようにしている	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	職場環境、条件等の把握改善に取り組む必要がある。		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内での勉強会は不十分で検討を要する。他の研修に関しては回覧し参加を促している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○ 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市町村主催の交流には参加しているが、十分なネットワークは取れていない		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接・入所時、利用者・ご家族様の意向を聞き取られるように努めている		
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接・入所時、ご家族様の意向を聞き取られるように努めている		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	身体的状況や、おかれている立場を総合的に考慮し、当事業所でのサービスが適しているかどうか判断できるよう努めている		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	各利用者の特性を活かせるような場面作りや共有できる時間を持っている		
19		○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話・面会時に施設での状況等報告している。その際、意向を聞きサービスに取り入れている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援	ご家族様以外に友人・親戚の方々も面会できるよう配慮している。本人からの希望があれば電話連絡や手紙等の支援を行なっている	地域の方達や、なじみの人とのつながりを続けられるように、職員は日頃より散歩や立ち話しの際には声かけを積極的に行なっている	
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○ 利用者同士の関係の支援	職員一同、申し送りや会議などで把握している。又利用者同士の関わり合いについても留意し、支援している。	/	/
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			
22		○ 関係を断ち切らない取り組み	利用者・ご家族様の状況に応じ（入院、退居等）伺える機会には関係が継続できるよう心がけている	/	/
		サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握	日常生活の会話の中で利用者のニーズを把握している。又本人の確認が困難であれば、ご家族様より入所までの生活歴を聞き参考にしている	利用者に一人ずつ寄り添い、地道にお話をするように努めている。少しずつ聞き出せたことは、記録にして活用している	
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○ これまでの暮らしの把握	利用者・ご家族様からのアセスメントをとり情報集収し把握している	/	/
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○ 暮らしの現状の把握	毎日の生活の中での変化に注意し、日常の申し送りや連絡ノートを設置しその都度、看護職員・介護職員に報告し指示を仰いでいる	/	/
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング	定期的にカンファレンスを行いモニタリングに反映させている。又家族と面談し現状を説明、ケアプランの意向を確認している	職員は利用者一人ひとりに、見つけた様子、言葉の記録を、職員カンファレンスで話し合い、計画作成を行なっている	
		本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○ 個別の記録と実戦への反映	日々の様子やケア実践等、モニタリングを行い各ユニットごとに連絡ノートを設置している。又個別記録も行なっている		
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	利用者の状況を踏まえ日々の変化に十分気を配り柔軟に対応できるよう心がけている		
		本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○ 地域資源との協働	民生委員・ボランティアの来訪あり		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○ かかりつけ医の受診診断	利用者のかかりつけ医の継続はできている。また月1回健康管理の為に、定期受診や訪問往診を行なっている。又必要に応じ受診介助の支援も行っている	協力医の定期的な往診を受け、利用者の体調管理を密にしている。緊急時には適切な医療を受けられるように、協力医とは救援医療体制を築いている	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○ 介護職員との協働	専任の看護職員を中心に日常の健康管理を行っている。また特変時の対応はかかりつけ医へ連絡または看護職員よりの指示のもと対応している。受診時は同行している		
		介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	病院の担当者との連携を行なっている		
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ご家族様との話し合いも一人ひとりの置かれている状況が異なり具体的な話し合いまでは至っていない	入所時の契約のままなので、検討予定となっている	
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	重度化しないよう医師・看護職員・職員と連携をとり早期発見・予防に心がけている		
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	防災訓練・避難訓練は職員のみで実施している	最近の札幌での火災事故のこともあり、消防署と連絡の上で訓練を検討する	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	各利用者の性格等を把握し、言葉や対応に気をつけている。記録等の取扱いに注意するよう常に指導しているが個々の自覚がかけているように思える	職員は、利用者一人ひとりの人格の尊重と、プライバシーの管理について、職員同士で注意をし合っている	
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	利用者の思いや自己決定が出来る支援方法や環境づくりを行なっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし	メリハリのある生活が出来るよう散歩・外出の機会を取り入れている。また各利用者のペースに合わせて自由な時間が過ごせるように支援している	/	/
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している			
39		○ 身だしなみやおしゃれの支援	服装は利用者と一緒に選択して決めてもらっている。身だしなみ等は必要に応じて声掛けしている	/	/
		その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している			
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援	利用者のADLに合わせてなるべく一緒に参加してもらっている	旬の食材等も取り入れ職員と一緒に食事の楽しさを味わいながら、日々の食事を楽しんでいる	/
		食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援	体調や健康面に応じてのメニューや摂取量・管理栄養士の基に作成された献立（あじみ屋）を利用している。カロリー計算済の食材使用。定期的に必要な応じての水分補給も行なっている。食事チェック表を参考に食事量水分量の把握をしている	/	/
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○ 口腔内の清潔保持	毎食後、一人ひとり声掛けや誘導により実施している	/	/
		口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている			
43	16	○ 排泄の自立支援	排泄チェック表で間隔・量を把握し出来るだけ自力排便を促しているが排便コントロールが困難な方には緩下剤等で対応している	利用者の排泄管理表を活用し、日々の体調に合わせたトイレ誘導を行い。出来る限り自立できるように、十分に見極める支援を行なっている	/
		排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている			
44		○ 便秘の予防と対応	健康状態の把握・管理のもとで散歩・リハビリへの参加等の運動を実施。定期的な水分補給を行なっている	/	/
		便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	可能な時間の中で個々の希望を叶えるように努めている	職員のやり繰りで、入浴時間について、ご希望には出来るだけ配慮している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者の睡眠パターンを把握し安眠して頂けるよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	医師・看護職員を通じて、薬の内容・副作用等の把握が出来るよう努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の活かせることを把握し職員と共にお花や野菜の水やり、家事の手伝い等、一部ではあるが個々の役割や楽しみごとの支援が出来るよう努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の体調や天候に合わせて気分転換を図る為にもなるべく戸外に出かけられるよう努めている	天候の状況に合わせて、少しの時間でも外出するよう努めている	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	一部の利用者は本人管理が出来なくなっている為、利用者の大半の方は事務所預かりで対応している。 買物・外出を取り入れ使う機会を提供している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	必要に応じ行なっている		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた貼り絵・散歩の途中で見つけた草花を生けたり、フローアーにて季節に合わせてBGMを流したり工夫している	共用室は広く自由な感じの空間となっている。利用者は職員と一緒に楽しみごとを適宜に行なっている	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用の中でも、思い思いに過ごされている		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	安全に配慮し、出来るだけ好みの品を使用してもらっている	ご家族とともに相談しながら、暖かい雰囲気をかもし出せるよう家財を整え、ホームでの生活を続け得られるよう支援している	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	現在は安全かつ、自立した生活が送られているが今後、身体機能・ADL低下に伴った工夫が必要である		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています	○ ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている	○ ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	○ ① ほぼ全ての家族が ② 家族の2/3くらいが ③ 家族の1/3くらいが ④ ほとんどいない